



地域6次産業化 — 育てよう 元気の芽

地元の農林畜産物などを活用し、農業と他産業が連携して進める地域6次産業化。新たな製品やサービスを生み出そうというこの取り組みの最新情報を皆さんにお知らせします。

■問い合わせ＝本庁元気戦略室（内線471・472）



小沢市長が認定証を手渡しました

た」の山内恵利さん（51）は、「心が豊かになる店にしたい。天日干しの米を、ぬか釜で炊き上げたご飯を売りにしています」と、地元の食材へのこだわりを見せていました。

地元の営農組合が生産したソバを使い、料理を提供している「そば処もちた屋」の高野司さん（68）は「パートで雇っているのは地元の主婦の皆さん。収益も地元還元しています」と胸を張り、「この認定に恥じないようますます頑張っていきたい」と気持ちを新たにしました。

“前沢牛”“奥州牛”を主に扱っている「(有)ささ忠」の佐々木英雄さん（65）は「全国的にも最高級レベルの霜降り牛肉。それを市民や観光客の皆さんに食べていただき満足してもらいたい」と話し、「名物にうまいものあり」と奥州市の魅力を発信していきます」と熱く語りました。

小沢昌記市長は「認定店がさらに広がり、それを楽しみに人が集まれば何より。市も一生懸命応援していきます」と今後に期待しました。今回認定した4店舗は、市ホームページでも紹介していますので、ぜひご覧ください。

う米のおうしゅう食の黄金店

検索

「う米のおうしゅう食の黄金店」に認定証を交付

市は、奥州地産地消こだわりの店「う米のおうしゅう食の黄金店」に市内4店舗（下欄で紹介）を認定しました。これは、市産農畜産物の利用を推進し、消費者に地域の食文化などの理解を深めてもらうことが目的で、市地域6次産業化ビジョン（2014～16年度）の取り組みの一つです。「米は市内産米を100%使用」「米および酒類を除いた食材は年間を通じて概ね50%以上の市内産を使用」などが認定要件。

市内13店舗から申請がありましたが、厳しい審査基準に適合したのは、今回認定を受けた4店舗のみでした。

認定証の交付式を3月20日、市役所で開催し、小沢昌記市長も同席して意見交換を行いました。抽選により、認定証

番号が1番となった「ステーキハウス パイオニア牧場」の菊地清子さん（66）は「地元のものを地元の皆さんに——という思いから、自家の菊地牧場で肥育した奥州牛を提供しています」と語り、「今はグリーンツーリズムの受け入れも行い、牛舎の仕事を体験してもらっています。牛舎・店と一緒に奥州牛を宣伝していきたい」と述べました。

“胆沢のものを使います”“胆沢の心を伝えます”“真心を大切にします”と、3つの「こだわり宣言」を掲げる「農家レストランまだ来すた

地元食材を生かした手作りの料理
ぬか釜で炊き上げたご飯は絶品



農家レストラン まだ来すた
千田由美 代表
胆沢区若柳字大立目 19
☎ 46-4241
認定証番号 2

“田舎らしい”手打ちそば
地元産のソバで地域の魅力を発信



そば処 もちた屋
高野 司 代表
江刺区岩谷堂字五位塚 697-1
☎ 35-3535
認定証番号 3

前沢牛とささ忠特選牛を使用
すき焼き・しゃぶしゃぶの老舗



(有) ささ忠
佐々木 英雄 代表取締役
水沢区字横町 205
☎ 23-3621
認定証番号 4



基礎を習得するため、今は全て手作業で仕上げている

一点に集中し、丸ペンを走らせる江川大輔さん。専用の原稿用紙に1本1本の線を細かく重ね合わせ、1こまずつ丁寧に漫画を描き上げる。小学生の頃から漫画を描いていたという大輔さん。「吉田戦車さんの『伝染るんです。』を読んだのがきっかけ」と、その原点を明かした。専門学校を卒業し、地元の塗装店に就職。仕事に熱中し、当時は一度もペンを持たなかったという。26歳の時に体調を崩し、仕事を離れざるを得なかった大輔さん。バイト

をしながら再びペンを持つことに——。本格的な漫画を描き始めた。「いわてマンガ大賞」では、第3回が優秀賞、第4回は大賞を受賞。「審査員の先生に細かく指摘されました。まだまだです」と謙遜する大輔さん。今後は、漫画家の登竜門といわれる「黒潮マンガ大賞」で入賞を目指す。「そこで入賞できたら、漫画家としての道を考えたい」と、郷土を題材に漫画を描く大輔さんは、その夢に向かって一歩ずつ前進している。

江川 大輔さん（31歳）
水沢区字高屋敷



えがわ・だいすけ◎昭和58年、水沢区生まれ。昨年開催された第4回いわてマンガ大賞（県と盛岡情報ビジネス専門学校の共催）に応募。見事第1位に当たる大賞を受賞。両親と兄2人の5人家族

〈今月の表紙〉



東北新幹線水沢江刺駅開業30周年記念式典（羽田地区振興会、同駅主催）が3月14日、同駅西口広場で開催されました。東北新幹線初の請願駅として昭和60年に誕生した同駅。この節目の日を祝い、くす玉が割られるなど記念のイベントが行われました。

写真は、プラットホームで行われた「出発進行合図式」の一コマ。1日駅長を委嘱された2人が、緊張した表情を見せながらも、一生懸命手を振り、走り出す新幹線をいつまでも見送っていたのが印象的でした。

【関連記事：18ページ】

※作品はウェブ上でご覧いただけます

コミックいわて 江川大輔

検索

市民と行政をつなぐ情報紙

広報

おうしゅう

Vol.110

Public Relations Magazine
Oshu City

2015

4

CONTENTS

- キラリ輝く奥州人
- 地域6次産業化 一育てよう元気の芽
- 27年度 施政方針
- 27年度 教育行政方針
- 27年度 予算の概要
- 地域で育もう未来に輝く奥州っ子 一子ども・子育て支援新制度が始まりました！
- 仕事とくらしのワンストップサービスを充実
トマス・アンナの あんなことこんなこと
- 全日本学生児童発明くふう展で大臣賞
百歳おめでとー
姉妹都市 掛川だより
- おもっちニュースレター
- 地域の窓
国体協賛に感謝
- 広報紙で振り返る奥州市の10年
- 市政ズームイン
- まちの話題
- 夢トーク
青春讃歌
- 雨の日も晴れの日も
市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 我が家のアイドル
子ども喜ぶ人気メニュー
- 子そだて広場
子そだて行事予定
- 情報あらかると
- 奥州遺産

地域の個性が
ひかり輝く
自治と協働のまち
奥州市